



Washington Japanese Language School

ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

2022年5月14日 発行 第6号

ワシントン日本語学校
校長 神戸 昭夫

[ワシントン日本語学校事務局]
HOT LINE (301)962-7415
TEL (301)962-7410
FAX (301)962-7411



安全で安心な学校生活のために 911と240-704-3939 301-962-7410

5月7日、避難訓練の第2回目を行いました。今回の想定は「不審者侵入」でした。安全対策マニュアルに従い、以下のように訓練を行いました。

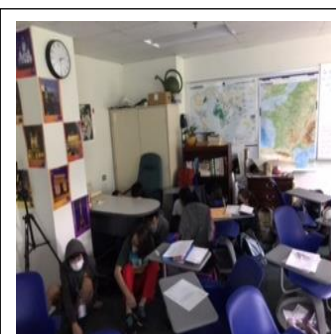
＜不審者侵入時の対応＞

(「安全対策マニュアル」より抜粋)

- ① 第1発見者が不審者情報を伝達。
- ② 授業者は職員室よりの不審者侵入の校内放送を受け、ロックダウン（児童生徒を近くの教室に入れてから）トランシーバー等の電源を切り、電気を消して、廊下から見えない所に静かに待機させる。）するか外に出るか（近くの出入り口より）の避難方法の選択。
- ③ **911**への通報。



不審者役の事務局長



ドアから見えない所へ

4月30日には、行方不明者搜索の訓練も行いました。

＜生徒行方不明時の対応＞

(「安全対策マニュアル」より抜粋)

- ① 毎授業時間開始前、生徒の出席・欠席の確認。
- ② 行方不明の一報受理後、構内・構外の探索。
- ③ 保護者に連絡。生徒の特徴（髪型、服装等）の確認
- ④ SR校セキュリティに協力依頼。
- ⑤ 構内一斉放送による呼びかけ。
- ⑥ 30分経過しても所在不明の場合は**911**へ通報

また今後、6月4日の第3回目は「トルネード」を想定した訓練を行います。

＜トルネード発生時の対応＞

(「安全対策マニュアル」より抜粋)

- ① トルネードの発生が郡より確認・報告されている場合及び目視で確認できる場合は直ちに指定の場所に避難する。
- ② 授業中や休み時間中の場合等に対応が異なる。
- ③ 避難場所に誘導及び各自で集まる。
- ⑦ できるだけ窓から遠ざかり、壁に向かってしゃがみ、後ろ手で頭を押さえてできるだけ低い姿勢を取る。

9月17日には、火災発生時の対応も行います。＜火災発生時の対応＞（「安全対策マニュアル」より抜粋）

- ① 火災警報（サイレン）が鳴ったら、全員すぐに、校舎外に出て、集合場所に避難する。

※第1避難場所＝南側に避難する場合：ロックビルパイク側芝生

第2避難場所＝東側に避難する場合：人工芝運動場

- ② 近くに先生がいない場合は、各自で最寄の出口より校舎外に出て、避難場所に集合・整列する。

<授業日の緊急個別連絡>（保護者遵守事項 令和4年4月16日付けより）

生徒が病気やケガ、その他の原因で要帰宅と判断された場合、本校からの連絡

240-704-3939 301-962-7410よりの電話に即対応して生徒を引き取ってください。

<生徒が学校にいる間の保護者の心構え>（令和4年4月29日メール配信）

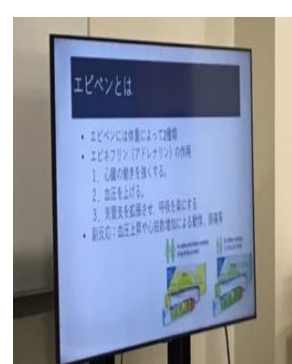
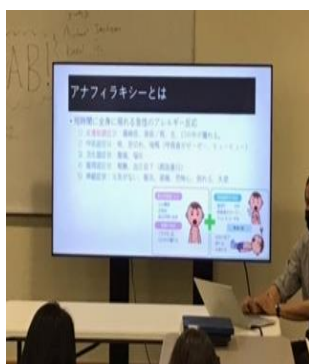
生徒が病気になったり、事故にあったり、教職員が教室で学習困難と判断した場合、学校は直ちに保護者に連絡をします。保護者は直ちに生徒を引き取りに来なければなりません。緊急事態に備え、以下の電話番号を必ずご登録ください。**聖心SR校職員室:240-704-3939 事務局:301-962-7410**

※ 時々連絡がなかなかつかないことがあります。上記電話番号を必ずご登録ください。

4月30日の職員会議の中で、1時間の<アナフィラキシー・エピペン講習会>を行い、全職員が参加しました。

<緊急性が高いアレルギー症状への対応（「安全対策マニュアル」より抜粋）>

- ① エピペンを所持する園児・児童・生徒は、登校時にかばんにエピペンを入れ、所持を示す本校指定のバッジ（氏名入り）をつける。学級担任はそのかばんを教室入り口付近のわかりやすい所に置かせる。
- ② 教職員はどの園児・児童・生徒がエピペン所持者であるかわかるようにしておく。
- ③ 緊急性が高いアレルギー症状（アナフィラキシー症状）の際、エピペンを使用する。
- ④ 911と保護者に連絡をする。



今後8月20日には「CPR講習会」を行う予定です。

雨の日の昼休み



けん玉



百人一首



廊下で



何をしているかな？